令和2年度 釜石湾内観測結果(No.1)

"今月の話題"

5m層及び15m層において、水温及び塩分が過去の調査結果の平均値より高くなりました。

海水中のクロロフィル量は、5m、10m及び15mでは10mが一番高くなる傾向が見られました。

令和2年4月17日に実施した釜石湾内観測結果をお知らせします。

St.1~4の全ての観測点において、水温及び塩分が過去7年(2013年~2019年)の平均値よりも高くなりました。

クロロフィル量では、5m層、10m層、15m層の中では10m層が一番高くなる傾向が見られました。観測点別にみると、5m層ではSt.3(石浜)が最も高く、10m層ではSt.4(白浜沖)が最も高く、15m層ではSt.1(垂水)及びSt.4(白浜沖)が最も高くなりました。

海域名:釜石湾

調査担当:水産技術センター、沿岸広域振興局水産部

観測点(St.)		1 (垂水)	2 (湾北部)	3 (石浜)	4(白浜沖)
観測年月日		令和2年4月17日			
観測時刻		11:17	10:00	11:02	10:32
水深(m)		25.0	26.2	19.4	56.6
透明度(m)		7.0	8.0	5.0	7.5
水色		9	5	8	7
水温(℃)	表層	9.4	9.6	9.3	9.2
	5m層	9.1	9.1	9.0	8.9
	10m層	8.8	8.9	8.6	8.8
	15m層	8.6	8.8	8.5	8.9
	底層	8.4	8.7	8.4	8.2
塩分	表層	32.7	33.0	32.4	31.6
	5m層	33.2	33.3	33.2	33.2
	10m層	33.6	33.6	33.6	33.6
	15m層	33.7	33.7	33.7	33.7
	底層	33.7	33.8	33.7	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層	109.4	110.6	108.1	107.7
	5m層	111.0	112.7	107.8	110.3
	10m層	111.2	110.7	108.0	110.7
	15m層	106.3	104.9	100.8	106.8
	底層	96.7	101.0	98.3	87.0

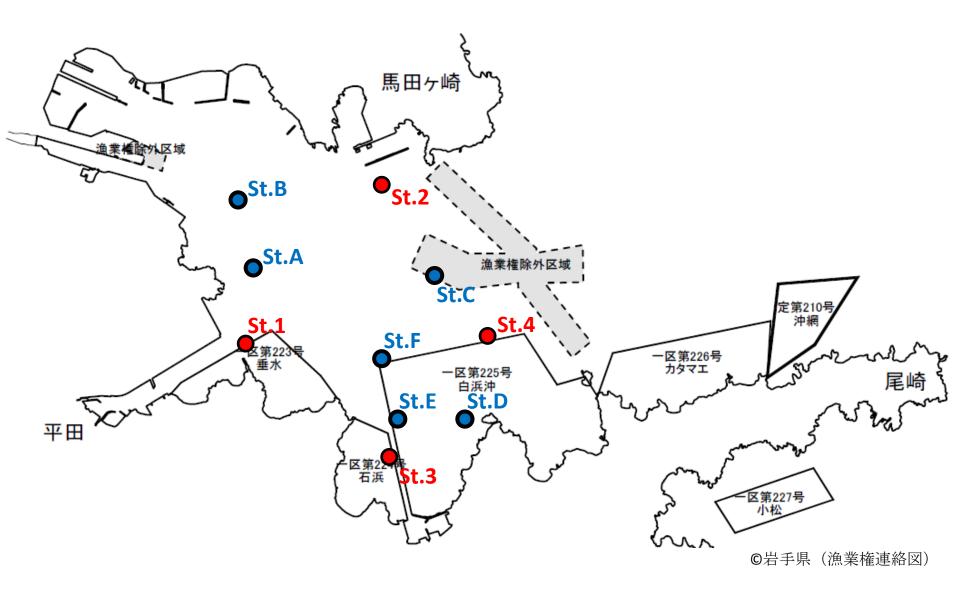
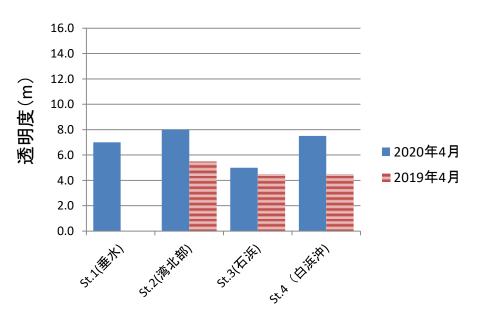


図1 釜石湾調査定点図

※St.1からSt.4において透明度の観測や表層Omから海底上1mの水質を観測した。 St.AからSt.Fにおいて表層Omから水深10mの水質を観測した。

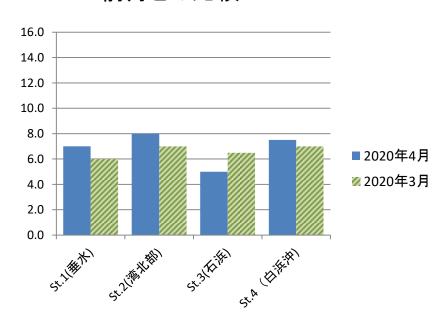
前年同月との比較



・St.2~4で前年同月より高い

・2019年4月のSt.1は欠測

前月との比較



・全点で先月とほぼ同じ

図2 透明度の比較(前年同月、前月)

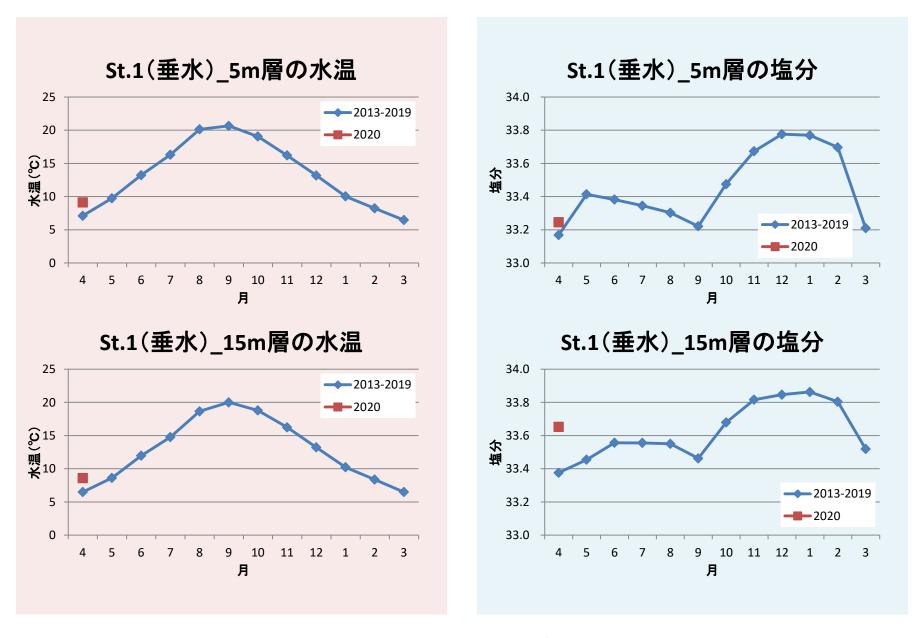


図3 St.1(垂水)の水温及び塩分の推移

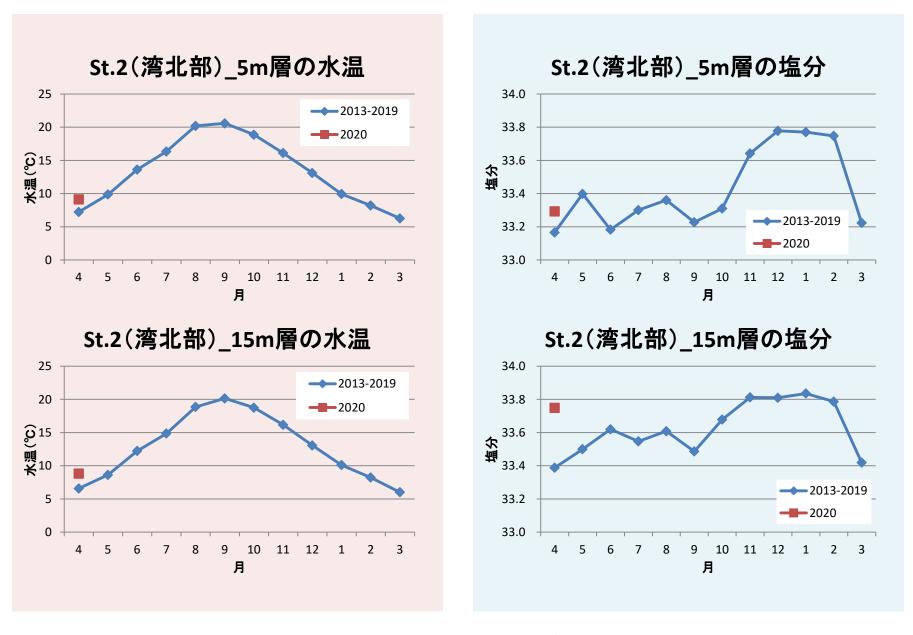


図4 St.2(湾北部)の水温及び塩分の推移

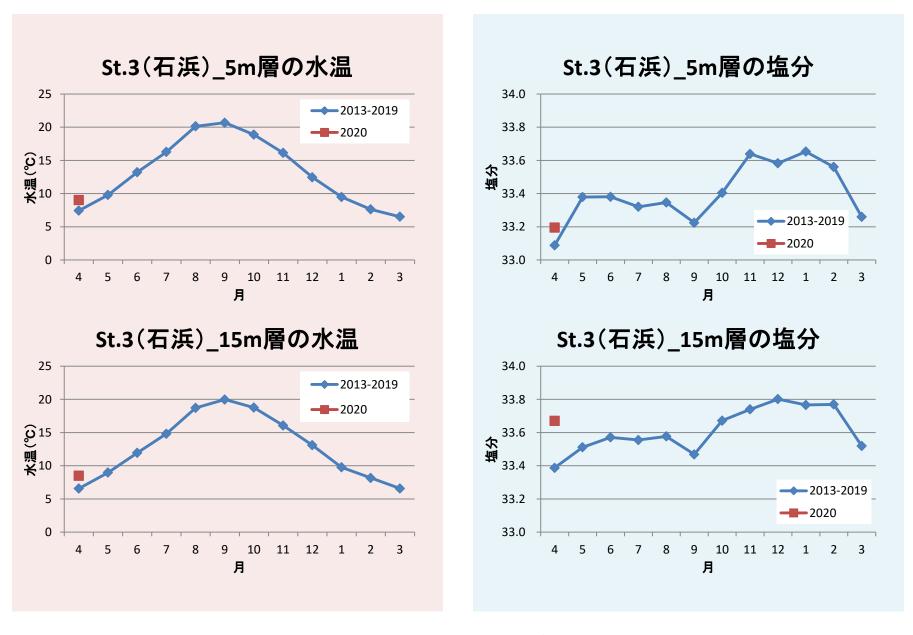


図5 St.3(石浜)の水温及び塩分の推移

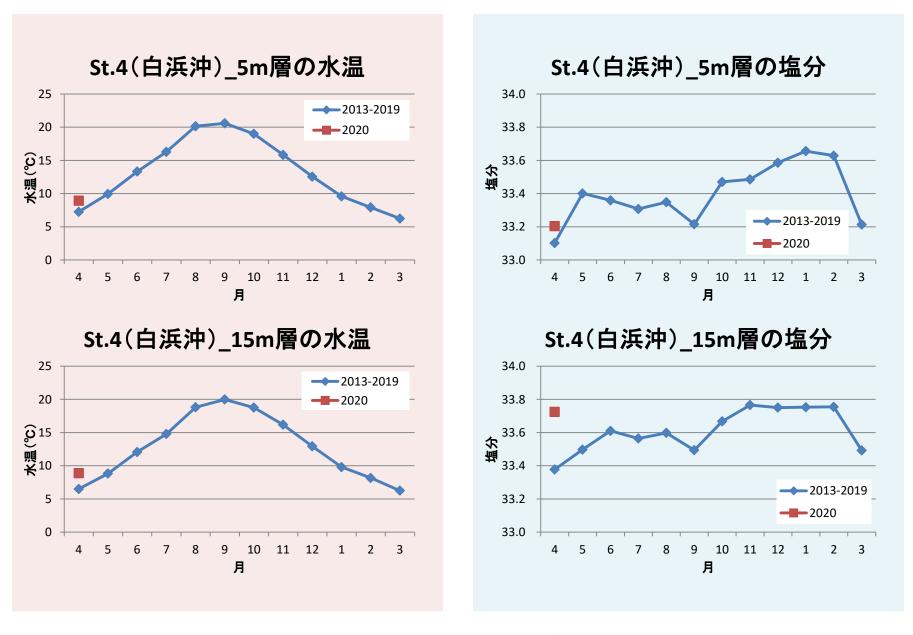


図6 St.4(白浜沖)の水温及び塩分の推移

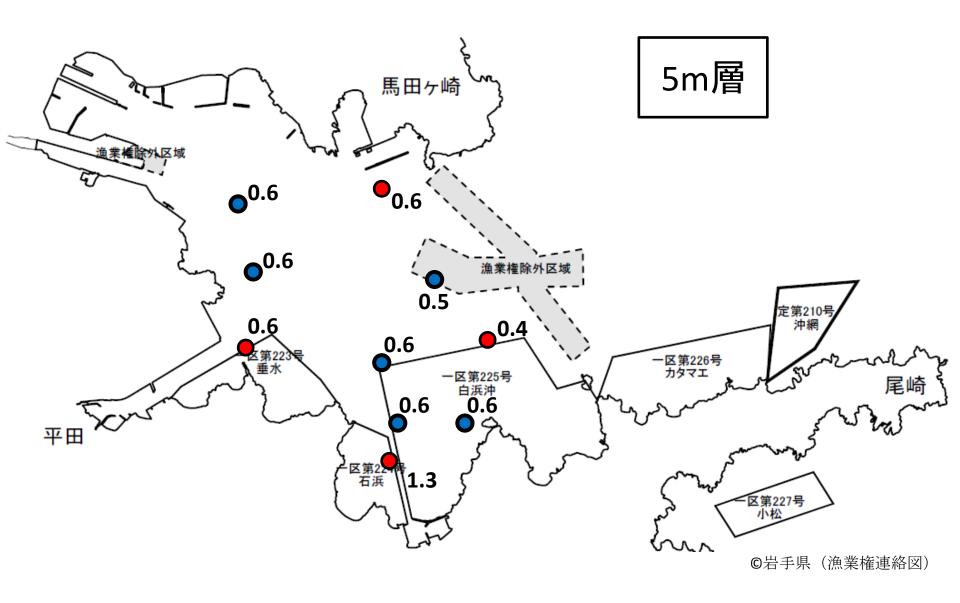


図7 5m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。1度の調査での湾内の相対的な 比較としてご利用ください。

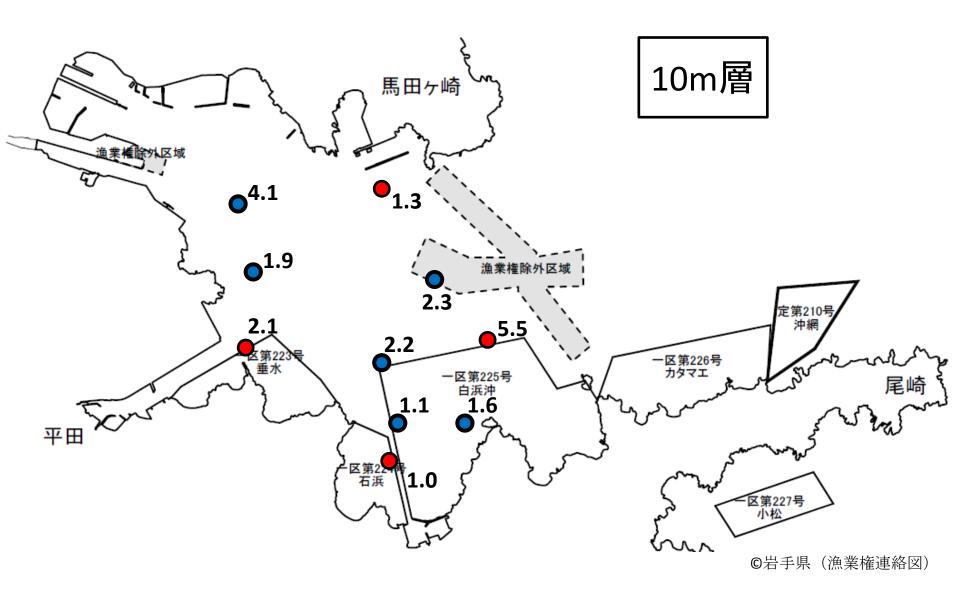


図8 10m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。1度の調査での湾内の相対的な 比較としてご利用ください。

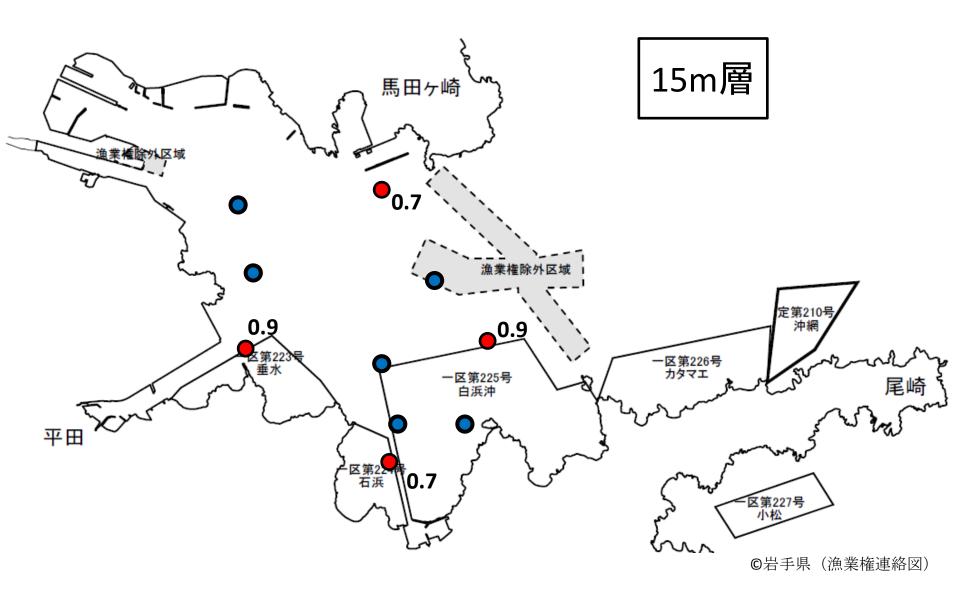


図9 15m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。1度の調査での湾内の相対的な比較としてご利用ください。St.A~Fは10mまでのデータしかありません。